

**三遠南信自動車道(水窪北～佐久間)  
計画段階評価  
意見聴取結果**

**平成25年12月26日**

**国土交通省 中部地方整備局**

# 目次

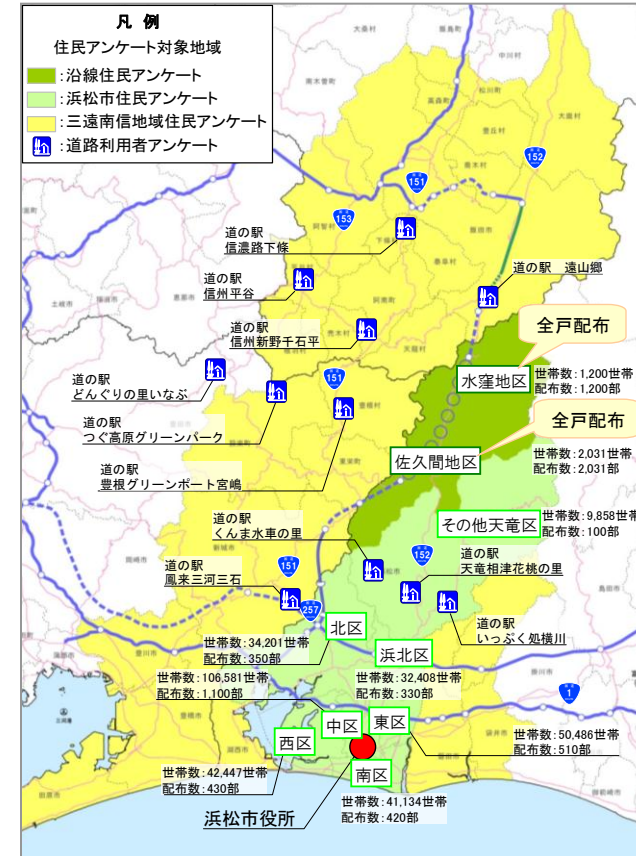
<b>1 意見聴取の概要</b> .....	<b>1</b>
<b>2 調査結果のまとめ(案)</b> .....	<b>5</b>
<b>3 意見聴取結果</b> .....	<b>6</b>
<b>4 浜松市長意見</b> .....	<b>18</b>
<b>5 アンケートの結果報告</b> .....	<b>19</b>

# 1. 意見聴取の概要(実施概要)

- 平成25年4～5月に三遠南信地域の自治体や商工会議所、トラック協会、バス協会等の団体及び住民や地域への来訪者から意見聴取を実施。
- 住民アンケートでは、浜松市内への郵送アンケートのほか、留め置き・Webアンケートにより幅広く意見を聴取。
- 回収状況は20市町村、38団体、113企業から回答を得た。また、住民郵送アンケートの回収率は53%、企業郵送アンケートの回収率は47%であった。

## 意見聴取の実施概要

項目	実施期間	対象	意見聴取の方法及び配布数	回収状況(回収率)	
地方自治体等 ヒアリング	4/30～5/17	SENA(三遠南信地域連携ビジョン推進会議)構成自治体	ヒアリングによる意見聴取 静岡県、愛知県、長野県の9市6町11村 計26自治体	20市町村 (77%)	
		浜松市、飯田市、豊橋市の商工会議所	ヒアリングによる意見聴取 商工会議所 計3団体	2団体 (67%)	
		静岡県、愛知県、長野県のトラック協会・バス協会	ヒアリングによる意見聴取 トラック協会、バス協会 計6団体	5団体 (83%)	
		沿線地域の代表者	ヒアリングによる意見聴取 水窪・佐久間の協働センター、天竜消防署出張所、観光協会、商工会支所、佐久間病院、道の駅管理者及び自治会代表者 計15団体及び自治会代表者6名	15団体及び、自治会代表者6名 (一)	
各種団体 アンケート	5/7～5/17	・SENA構成団体(浜松市、飯田市、豊橋市以外の商工会) ・企業(浜松市、豊橋市、飯田市商工会議所からの紹介企業)	郵送配布・回収 商工会 : 37団体 企業 : 237企業	16団体 113企業 (47%)	
住民アンケート	4/25～5/17	紙媒体での アンケート	沿線地域住民	郵送配布・回収 佐久間・水窪町全戸 3,188戸	1,999票 (63%)
			沿線地域外住民(浜松市民)	郵送配布・回収 3,240戸(佐久間・水窪町除く浜松市全世帯から1%の世帯を無作為抽出)	1,422票 (44%)
				郵送配布アンケート回収数	3,421票 (53%)
				市役所、区役所にて留め置き配布、回収箱、郵送による回収	55票 (一)
			沿線地域外住民(三遠南信地域住民等)		322票 (一)
				アンケート回収数	3,798票
			WEB アンケート	沿線地域外住民(浜松市民) 沿線地域外住民(その他広域住民)	インターネット上での回答 浜松河川国道事務所、浜松市のHPにてアンケート モニターアンケート
		アンケート回収数	1,109票		
道路利用者 アンケート	5/4	道の駅利用者	インタビュー調査 右図の道の駅にて利用者にインタビュー(沿線地域の道の駅(11箇所)の利用者)	1,144票 (一)	

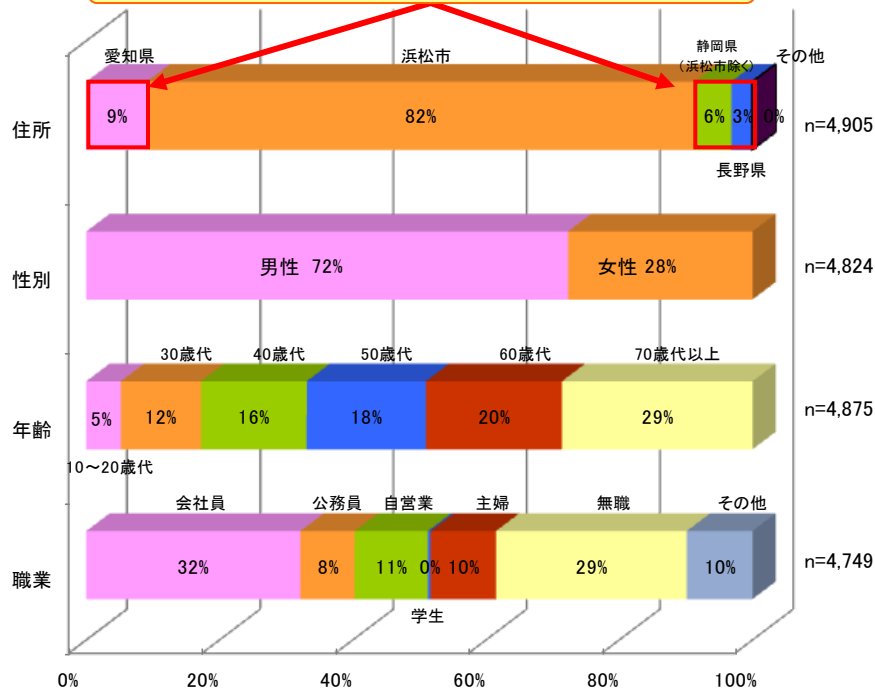


# 1. 意見聴取の概要 (聴取結果の概要)

■沿線地域(浜松市)外からの意見は、住民アンケートでは約2割、企業・商工会からは約5割、道路利用者においては約6割を占めており、広域の意見を収集することができた。

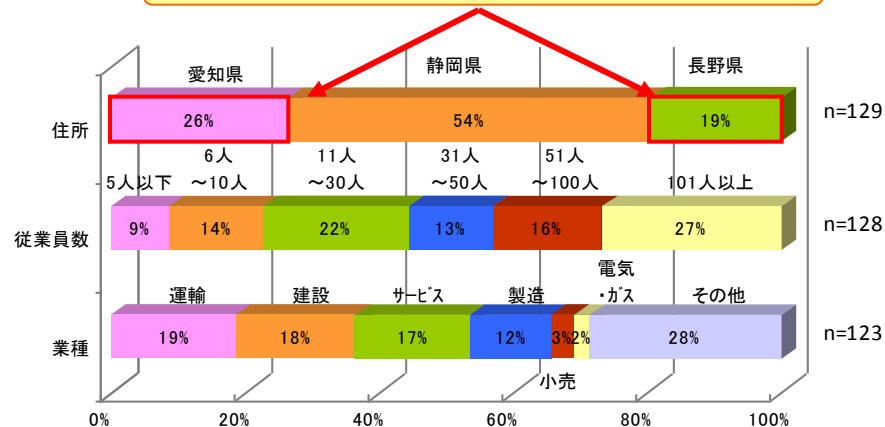
## ■住民アンケート回答者の属性

浜松市以外の住民が約2割(約900票)を占める



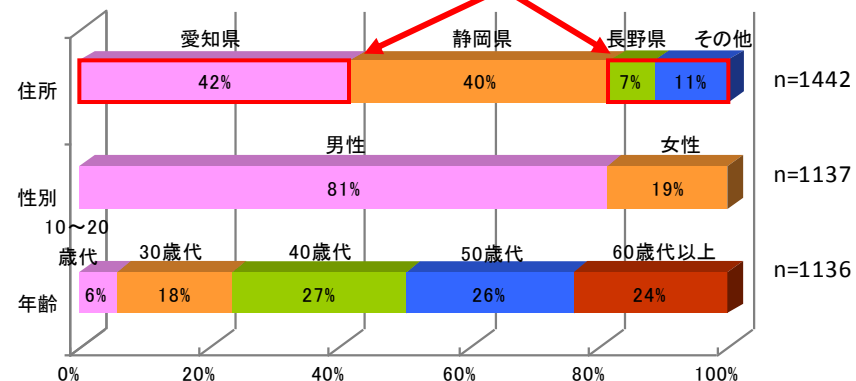
## ■企業・商工会アンケート回答者の属性

愛知県・長野県の企業・商工会が約5割を占める



## ■道路利用者(道の駅利用者)

静岡県以外からの回答者が約6割を占める



# 1. 意見聴取の概要(広報)

■インターネット及び市町村役所・役場へのポスター掲示や、沿線地域の自治会を通じて、アンケートの広報を実施した。

## ●インターネットによる広報

- ◆アンケート実施の案内を掲載したホームページ
  - ・浜松河川国道事務所
  - ・浜松市



## ●沿線自治会代表説明会の実施

- ◆佐久間・水窪地区の自治会代表者に集まっていただき、アンケートの趣旨説明及び協力依頼を実施した。



説明会の様子

## ●ポスター掲示による広報及び 留め置きアンケート実施状況

- ◆ポスター掲示及び留め置きアンケート実施箇所
  - ・三遠南信地域の26市町村役所・役場及び浜松市の各区役所



湖西市役所



浜松市役所

## [沿線地域住民アンケート調査票(沿線地域住民向け)]

ご意見いただいたりご自身のことをお聞きします。

【性別】性別、職業についてお聞きします。

該当するものを1つ選んで、番号に○をつけてください。選択に( )がある場合は( )に両方とも記入してください。

1) 性別	1. 男性	2. 女性					
2) 年齢	1. 10～20歳代	2. 30歳代	3. 40歳代	4. 50歳代	5. 60歳代	6. 70歳代以上	
3) 職業	1. 専業主婦	2. 公務員	3. 自営業	4. 学生	5. 主婦	6. 無職	7. その他( )

【用途】用途、自動車を利用しますか?

該当するものを1つ選んで、番号に○をつけてください。選択1～4を選ばれた方は3ヶ年、選択5～6を選ばれた方は4ヶ年とさせていただきます。

1) 自動車の利用頻度	1. ほとんど毎日	2. 月に1～2回	} 3ヶ年
	3. 月に1～2回	4. 年に数回	
5. 利用しない	6. 購入しない		

【用途】用途、自動車を利用する際の主な目的と行き先についてお聞きします。

該当するものを1つ選んで、番号に○をつけてください。選択に( )がある場合は( )に両方とも記入してください。

1) 自動車の主な利用目的	1. 仕事	2. 通学	3. 家事・買い物	4. 送迎	5. レジャー・ドライブなど	6. 通勤					
2) 自動車の主な行き先	1. 浜松市市区内	2. 浜松市外圏内	3. 佐久間・水窪地区(佐久間1)・( )区	4. 静岡市	5. 天竜村	6. 静岡市	7. 東静岡	8. 豊橋市	9. 豊田	10. その他( )	( )市・村

【用途】用途、水窪地区の道路サービスについて、あなたのように思われますか?

それぞれの項目について、考えに思いのものを1つ選んで、番号に○をつけてください。その他、選別について思われることがある場合は、自由欄にお書き下さい。

項目	とてもそう思う	ややそう思う	どちらでもない	ややそう思わない	全然そう思わない
1) 沿道や側道等の交通量(ピーク時)は、道路の容量を超過しているのではないか	1	2	3	4	5
2) 沿道や側道等の交通量(ピーク時)は、道路の容量を超過していない	1	2	3	4	5
3) 沿道や側道等の交通量(ピーク時)は、道路の容量を超過している	1	2	3	4	5
4) 沿道や側道等の交通量(ピーク時)は、道路の容量を超過していない	1	2	3	4	5

5) 自由欄

別紙資料「三遠南信自動車道(水窪北～佐久間)の計画概要」をご読みのうえ、以下の設問にお答え下さい。

【用途】用途、水窪地区における幹線道路の必要性について、防災、医療、生活支援、広域連携等の観点からどのように思われますか?

それぞれの項目について、考えに思いのものを1つ選んで、番号に○をつけてください。その他、選別と考えられる事項があれば、自由欄にお書き下さい。

項目	とてもそう思う	ややそう思う	どちらでもない	ややそう思わない	全然そう思わない
1) 防災、避難時でも最低限の交通手段として必要	1	2	3	4	5
2) 緊急時や災害発生時に、道路を確保し、交通手段を確保する上で必要	1	2	3	4	5
3) 沿道や側道等の交通量(ピーク時)は、道路の容量を超過している	1	2	3	4	5
4) 沿道や側道等の交通量(ピーク時)は、道路の容量を超過していない	1	2	3	4	5
5) 沿道や側道等の交通量(ピーク時)は、道路の容量を超過している	1	2	3	4	5
6) 沿道や側道等の交通量(ピーク時)は、道路の容量を超過していない	1	2	3	4	5

7) 自由欄

【用途】用途、佐久間・水窪地区における幹線道路のルートを検討する際、どのようなことに配慮すべきだと思いますか?

それぞれの項目について、考えに思いのものを1つ選んで、番号に○をつけてください。その他、選別と考えられる事項があれば、自由欄にお書き下さい。

項目	とてもそう思う	ややそう思う	どちらでもない	ややそう思わない	全然そう思わない
1) 急カーブが少なく安心して、快適に走行できるように	1	2	3	4	5
2) 道路幅が広く、道路容量を確保できるように	1	2	3	4	5
3) 沿道や側道等の交通量(ピーク時)は、道路の容量を超過している	1	2	3	4	5
4) 沿道や側道等の交通量(ピーク時)は、道路の容量を超過していない	1	2	3	4	5
5) 沿道や側道等の交通量(ピーク時)は、道路の容量を超過している	1	2	3	4	5
6) 沿道や側道等の交通量(ピーク時)は、道路の容量を超過していない	1	2	3	4	5

7) 自由欄

裏面にもあります

# 1. 意見聴取の概要(意見聴取の内容)

- アンケート調査では、当該地区の現状と課題から道路整備の必要性、配慮すべき事項について幅広く聴取。特に沿線地域については、地域防災から医療や日常生活に関する細かなことまで、深く意見を聴取した。
- 地方自治体等ヒアリングでは、より具体的な意見を拾い上げるために、自由回答により意見を聴取した。

## ■ヒアリング・アンケートでの設問項目

	地方自治体等ヒアリング		住民アンケート		各種団体アンケート	道路利用者アンケート
	沿線地域	沿線地域外	沿線地域	沿線地域外及びWebアンケート		
属性	—	—	● (居住地、性別、年齢層、職業)		● (所在地、従業員数、業種)	● (居住地、性別、年齢層)
佐久間水窪地区の走行頻度	—	—	●		●	—
自動車利用時の利用目的と目的地	—	—	●		●	● ※当日の移動目的と目的地
佐久間・水窪地区の現状と課題	○	—	—	—	—	—
【設問A】 佐久間・水窪地区の道路サービスについて	道路の利便性		●	●	●	—
	防災		●	●	●	—
	医療		○	○	—	—
	生活		●	—	—	—
【設問B】 佐久間・水窪地区における幹線道路整備の必要性について	防災	地域防災	●	—	—	—
		広域防災	●	●	●	●
	医療	救急医療	○	○	—	—
	日常生活		●	—	—	—
	観光交流		●	●	●	●
産業振興		●	●	●	●	
【設問C】 佐久間・水窪地区における幹線道路のルートを検討する際に配慮すべき事項について	○	○	●	●	●	●
三遠南信自動車道(水窪北～佐久間)を整備した場合の北遠地域への来訪頻度の変化	—	—	—	—	—	●
その他自由意見	○	○	○	○	○	○

それぞれの項目について“そう思う”、“ややそう思う”、“あまりそう思わない”、“そう思わない”、“わからない”の5段階で評価

○：自由意見回答式  
●：回答選択式

## 2. 調査結果のまとめ

- 住民郵送アンケートの回収率は沿線地域住民で63%であり、広域からも多くの回答をいただき、沿線地域外住民では44%、企業郵送アンケートで47%の回収率となり、全体として信頼性の高いアンケート結果が得られました。

### ◆道路整備に係わる地域の意見

#### 【設問A】佐久間・水窪地区の道路サービスについて

- 台風や豪雨等の災害時の通行止めによる**地域の孤立化への不安**を感じる意見が自治体、病院、消防署や住民などからありました。
- 高度医療ができる病院が立地する浜松市等都市部まで遠く、搬送に時間を要するので**救急医療が不安**であるといった意見が病院、消防署や住民などからありました。
- 浜松市等都市部までの移動に時間を要することから、専門医療ができる病院への**通院や買い物など日常生活が不便で、通勤・通学も困難**であるため、地域の過疎化に繋がっているという意見が自治体や自治会代表、住民などからありました。
- 道路の幅員が狭く、線形が悪いことから輸送に時間がかかり、**物流や人的交流が非効率**という意見が自治体、トラック協会、バス協会や住民などからありました。

#### 【設問B】佐久間・水窪地区における幹線道路整備の必要性について

- 災害時の孤立化を無くし、安全・安心な生活が確保できるよう、**幹線道路の防災性向上**を望む意見が自治体、自治会代表者や住民などからありました。
- 「三遠南信地域災害相互応援協定」に基づく救援・復興活動を支援する**広域防災ネットワークの構築**を望む意見が自治体や住民などからありました。
- 救急医療活動における**救命率の向上**のため、医療機関までの**速達性・走行性の向上**を求める意見が消防署や住民などからありました。
- 日常生活利便性の向上**のため、通勤、買い物や通院等に係わる都市部への**速達性の向上**を望む意見が自治体や自治会代表者などからありました。
- 観光交流圏域の拡大による**交流人口の増加**や**物流の効率化**(信頼性・定時性の向上)に資する道路整備を求める意見が自治体、観光協会、商工会議所、トラック協会、バス協会、住民などからありました。

#### 【設問C】佐久間・水窪地区における幹線道路のルートを検討する際に配慮すべき事項について

- 求められる機能を満足した上で**一日も早い道路整備**を求める意見が自治体、トラック協会、バス協会、商工会議所、住民などからありました。
- 既存ストックの利用等による建設コスト縮減や費用対効果**に配慮すべきであるといった意見が自治体、トラック協会、バス協会や住民などからありました。
- すれ違い困難箇所の解消等、**安全性や走行性に配慮**した道路整備を望む意見が自治体、バス協会、住民などからありました。
- 地域振興の観点から地元との触れ合い、自然景観を楽しめるといった**地域との関連性**に配慮して欲しいといった意見が、バス協会、観光協会や住民などからありました。
- 地域のコミュニティ維持のため、極力**家屋移転等が少なくなる**よう配慮すべきとの意見が自治体、商工会や住民などからありました。
- 自然環境への影響**を小さくするように配慮すべきとの意見が自治体や住民などからありました。
- 災害時の孤立化防止と救命率向上のため、中野田集落で**緊急出入口の設置**を求める意見が病院や消防署などからありました。

# 3. 意見聴取結果

## 【設問A】 佐久間・水窪地区の道路サービスについて

■ヒアリング及びアンケートの自由意見では、主に災害による通行止めや救急医療に関する意見が多いほか、移動の不便さ・都市部とのサービス格差による人口流出を懸念する意見が多い。

### ■主に防災に関する意見

- 地域の道路は、**災害等による通行止めが多く**、地域住民の**生活に影響を及ぼしている**。 (豊橋市役所、飯田市役所、豊丘村役場)
- 当該区間周辺の主要道路の**約8割が、異常気象時通行規制区間**に指定されており、平成19年度以降**1,100時間を越える通行止めが発生**している。また、脆弱な地質から毎年土砂災害により道路が寸断され、**地域が孤立化**する事態も発生しております。 (浜松市役所)
- 国道152号が災害等による通行止め時の迂回となる県道水窪佐久間羽ヶ庄線は、幅員が狭く大型車の離合が困難であり、迂回路としての機能を果たしていない。 (水窪協働センター)
- 平成18年9月には、国道152号で発生した**土砂崩れにより、救急車による搬送ができなくなる事態**があった。幸い通行止め期間中に救急搬送事案は発生しなかったが、万が一の際には災害現場において、佐久間出張所と連携し担架の手渡しを想定していた。 (天竜消防署水窪出張所)
- 国道152号、473号は雨量による事前通行規制区間に指定されているが、緊急車両は規制時やむを得ず規制区間を走行することがあり、落石等への不安を抱えながらの通行となっている。 (佐久間病院)
- 現状のままでは大規模災害発生時は**主要道路は1本しかなく、長期間孤立**することは間違いない。 (沿線地域住民)
- 水窪に行く用事が月に1~3回あるのですが、道幅が狭く**土砂災害の危険性のある場所**がかなりあるので**不安です**。 (沿線地域住民)

### ■主に医療や住民生活に関する意見

- 山間部では、道路整備の遅れにより、救急搬送において時間を要することから、住民の安心な生活が確保されていない状況。 (天龍村役場)
- 救急救命活動では、患者を一刻も早く医師に受け渡す必要があるが、**国道152号、473号は距離が長く、幅員が狭くカーブも多い**ことから、**搬送に時間を要する**。 (天竜消防署佐久間出張所)
- カーブが多いことで救急車の揺動が大きく、車内での処置を円滑に行えない**こともあるほか、隊員や付添者が車酔いしてしまうこともある。 (天竜消防署水窪出張所)
- 当地域の住民は、日用品の購入を地元の商店で行っているが、大きな買い物等の場合は浜松市中心部まで出て行くことが多く、買い物だけで大きな時間を要する。 (水窪協働センター)
- 地元の高校は佐久間高校しかなく、その他の高校へ進学する場合、**通学が困難なため、両親とともに都市部に転居してしまうケースがある**。また、働き盛りの者が**遠距離通勤を苦に転居するケースもある**。 (水窪地区自治会代表)
- 専門医にかかる場合、天竜・浜北まで出なくてはならず、**下校後の通院となると時間的に**早退か休まざるを得ない**。 (沿線地域住民)
- 病院まで、救急車で細く曲がりくねった道を佐久間まで40分もかかるなんて到底考えられない。 (沿線地域住民)



# 3. 意見聴取結果

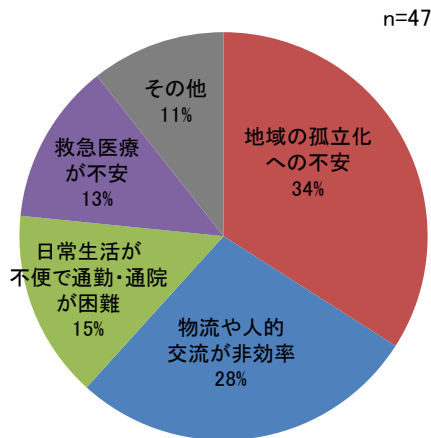
## ■主に産業や観光・交流に関する意見

- 県境を越える広域道路は、冬季になると路面凍結により通行止めになるなど、広域的な市民活動や企業活動の継続性が担保されていない。  
(浜松市役所)
- 国道151号は幅員狭小箇所が多く、大型車の走行に難渋する場合がある。しかし、中央道を利用すると高速料金が発生し、輸送コストが高くなってしまったため、やむを得ず一般道を走行しているがドライバーへの負担が大きい。  
(愛知県トラック協会)
- 飯田地区より静岡へのツアーは人気もあり、多くのコースを設定して催行してるが、中央道～東名ルートは距離も長く、東名高速では渋滞も発生する事が多く、バスでの移動時間がかかってしまい、思うような見学地を入れるに際して制約が出てしまっている。  
(長野県バス協会)
- 地域で祭典や催物をやろうとしても、準備段階で人手不足が不安になります。年々進む高齢化と人口流出で祭事の仕度がままならぬ状況になっている。  
(沿線地域住民)
- 愛知県民から見ると長野県は行きたいところがたくさんあるが、山間部の道路は走りづらく、距離は近くとも実際に行くのは遠い存在になっている。  
(沿線地域外住民)

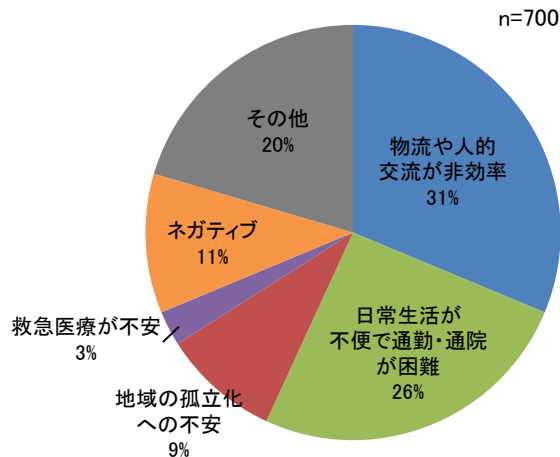
## ■その他の意見

- ドライブなどでしか行くことがないため、不便を感じない。  
(沿線地域外住民)
- 道幅が狭く、土砂災害などによる通行止めに何回もあった事があるが、山間部ならでは、仕方が無い。  
(沿線地域外住民)

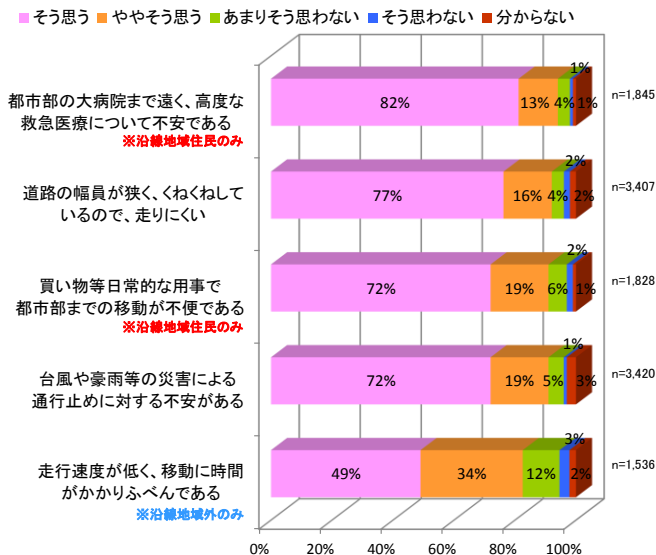
■ 地方自治体等ヒアリング、各種団体調査 (沿線地域代表者ヒアリング)における自由意見の 카테고리別集計グラフ



■ 住民アンケート、Webアンケート 各種団体調査 (企業アンケート)における自由意見の 카테고리別集計グラフ



■ アンケート設問項目別集計グラフ



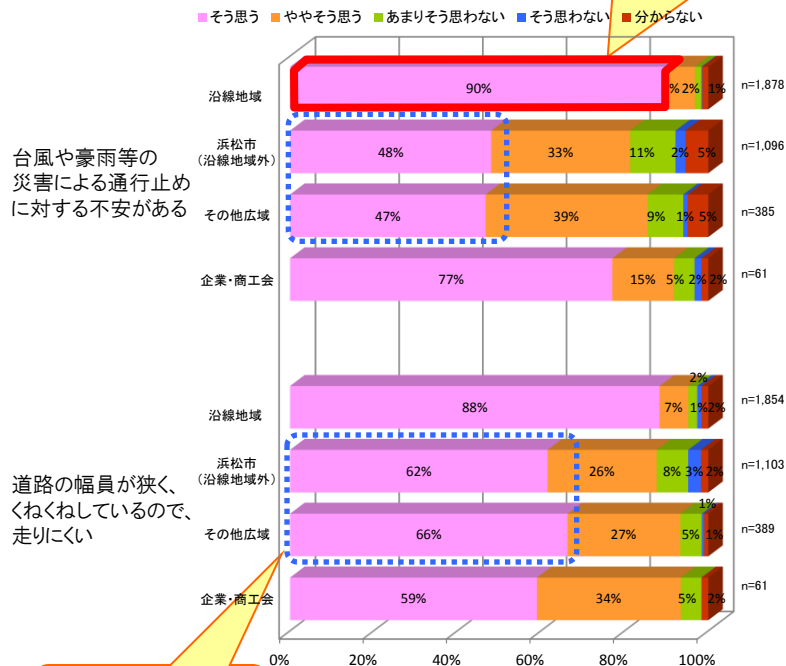
# 3. 意見聴取結果

## ■ アンケート集計結果

- 沿線地域の方では、沿線地域外の方に比して、道路サービスに対するすべての項目において“そう思う”の割合が高くなっており、特に災害による通行止めに対しては90%の方が“そう思う”と回答している。
- 沿線地域外の方が、沿線地域の方に比して“そう思う”という回答割合が低いのは、道路の利用頻度が低く、道路サービスの実情を体感していないことに起因するものと思われる。
- 沿線地域の方のうち、日常的な道路利用者(毎日または週に1~2回利用)の利用目的とその目的地を見ると、買い物や通院といった日常的な生活サービスは、沿線地域内よりも浜松市及び愛知県に強く依存していることがわかる。

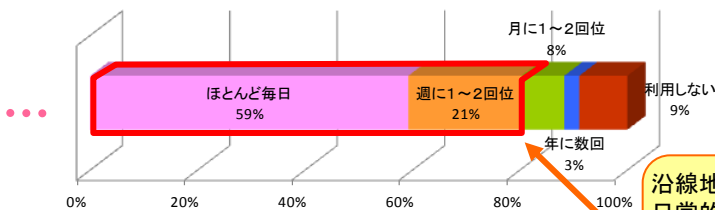
## ■ 地域別道路サービスへの課題認識

“そう思う”という割合が他の事項に比して高く、防災面での不安が非常に高い。

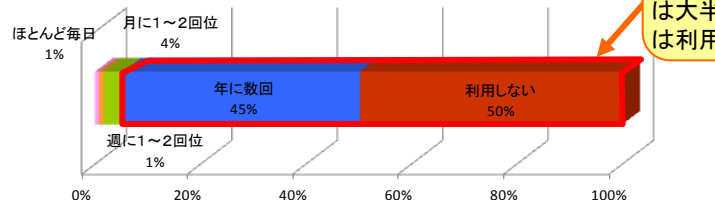


“そう思う”という割合が沿線地域に比較して低い。

## ■ 沿線地域住民の道路の利用頻度

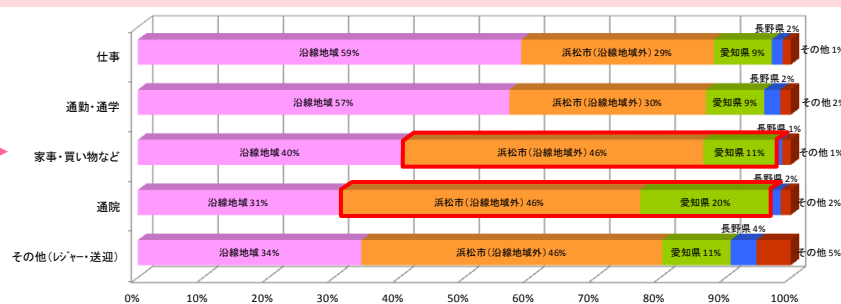


## ■ 沿線地域外住民の道路の利用頻度



沿線地域の方では80%が日常的に道路利用しているが、沿線地域外の方では大半が年に数回または利用していない。

## ■ 沿線地域住民の道路の利用目的と行き先(毎日、週1から2回利用する住民)



浜松市等へ日常的に買い物や通院で移動する割合が約6割から7割であり、日常生活の大半は浜松市等都市部に依存していることがわかる。

# 3. 意見聴取結果

## 【設問B】 佐久間・水窪地区における幹線道路整備の必要性について

■ヒアリング及びアンケートの自由意見では、災害に強い道路づくりや広域防災ネットワークの観点、迅速な救急医療活動等、安全・安心な生活確保のために、道路整備を求める意見が多い。

### ■主に防災面からの必要性

- 三遠南信自動車道は県境を越えて職員の派遣や物資を共有し合う「三遠南信地域災害時相互応援協定」に基づく、**災害時の物資供給等、復興・復旧に向けた重要なルート**であり、まさに**“命のつなぐ道”**として機能することが期待されることから、早急な道路整備が望まれる。  
(浜松市役所、豊橋市役所、喬木村役場)
- 地域住民にとって、**災害時等においても安心して生活ができる環境**を担保する災害に強い道路の早期整備は不可欠である。  
(浜松市役所)
- 発生が想定される**南海トラフ地震発生時**には、太平洋沿岸全般が大きな被害を受けることが想定される。その場合、**北側からの道路が避難経路や救援・物資輸送経路として大きな役割を果たす**。  
(喬木村役場)
- 災害が発生した際に孤立集落**となってしまうのではないかと心配しているため、災害に強い道路整備を期待している。  
(自治会代表)
- 地域には**幹線道路が国道152号1本しか無く**、大雨や大規模地震等による**土砂災害が起きれば**、地域の**孤立化は必至**である。孤立化回避のため、1日も早く道路整備を行って欲しい。  
(沿線地域住民)
- 近い将来予想される南海トラフ地震等の災害に対しての防災、避難対策にも大きなメリットが考えられる。  
(沿線地域外住民)

### ■主に医療・生活面からの必要性

- 都市部への移動や救急搬送における時間短縮により、過疎地域における住民の生活水準向上が期待できる。  
(天龍村役場)
- 道路整備により救急医療活動における、**速達性、走行性が向上することで、救命率の向上が期待**されます。  
(天竜消防署水窪出張所)
- 出張所に配備されている救急車の台数には限りがあり、複数の救急事案が同時発生した場合には、**出張所間で連携して活動**を行っている。三遠南信自動車道の整備による**出張所間の連携強化で、より円滑な救急救命活動**を行えるようになる。  
(天竜消防署佐久間出張所、水窪出張所)
- 救急医療では救急車、ドクターヘリの利用も可能であるが、**夜間はドクターヘリが不可能**であり、**安定した救急体制の確保のため、道路整備が不可欠**だと思う。  
(沿線地域住民)
- 今、私たちの市町村は**限界集落**となっており、病院、買い物等、何かと不便になってきている。まだ、**この地で生活をしたいので道路ができることによって不便な生活がいくらかは緩和できると思う**ので、早期の完成を望みます。  
(沿線地域住民)
- この地区は過疎化が深刻なので、せめて長男が家を継げるように**都市部への通勤が可能になる**ような道路整備を期待する。(自治会代表)

# 3. 意見聴取結果

## ■主に産業、観光・交流面からの必要性

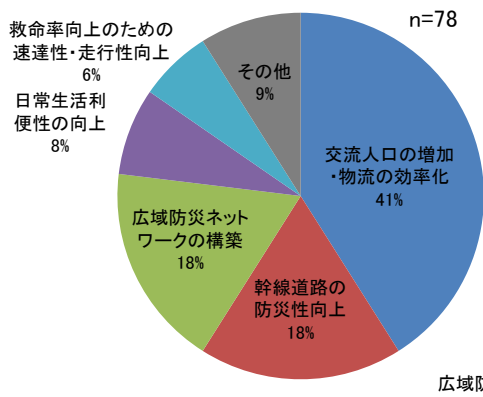
- 飯田市へのアクセス性向上により、地域固有の伝統文化・食文化等の観光資源の活用を通じ、**地域産業の発展、雇用機会や賑わいの創出に期待。** (飯田市役所)
- 平成23年の**鳳来峡～浜松いなさ間の一部開通だけでも、交流圏域の拡大や周遊の可能性を感じており、当該区間の整備による広域周遊圏の形成に期待**している。 (佐久間観光協会)
- 産業分野における新たな連携とその先にあるイノベーションを広域的に促進するための取組である、「**三遠南信クラスター推進会議※**」によって、大きな後押しとなることが期待される。 (浜松市商工会議所)
- 道路整備による**物流の効率化、信頼性・定時性の向上に期待**している。 (愛知県トラック協会)
- 開通すれば、東三河から南信地域への大幅な時間短縮となり、新たなツアー行程等の企画開発が期待できる。 (愛知県バス協会)
- 人口減少が急速に進行していく地域において、**道路整備により交流人口が増加し、伝統・文化の継承や、地域の賑わいつくり繋がることを期待**しています。 (沿線地域住民)

※三遠南信クラスター推進会議とは三遠南信地域で高いポテンシャルを有する分野の新産業集積と基幹産業化を目的として、次世代輸送用機器産業、光・電子産業、健康医療産業、新農業、航空宇宙産業の5つの産業を中心に、**県境を越えた地域間連携事業を推進していく組織。**

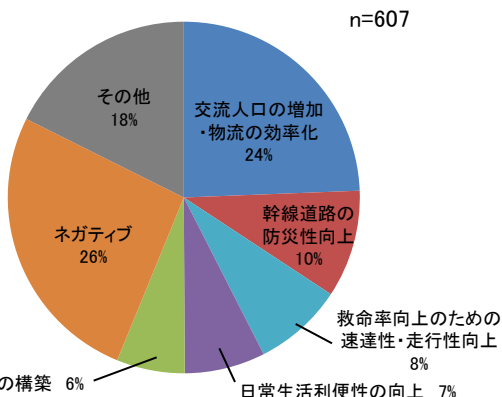
## ■その他の意見

- 過疎化の進む中山間地域では、あと20年もすれば人口は現在の半数以下になるだろう。その頃完成する道路ならば、**地域振興効果は期待出来ない。** (沿線地域外住民)

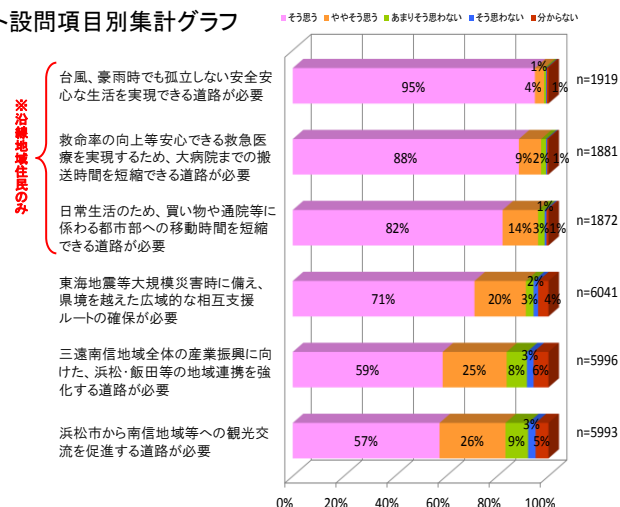
■地方自治体等ヒアリング、各種団体調査 (沿線地域代表者ヒアリング)における自由意見の 카테고리別集計グラフ



■住民アンケート、Webアンケート 各種団体調査(企業アンケート)における自由意見の 카테고리別集計グラフ



■アンケート設問項目別集計グラフ

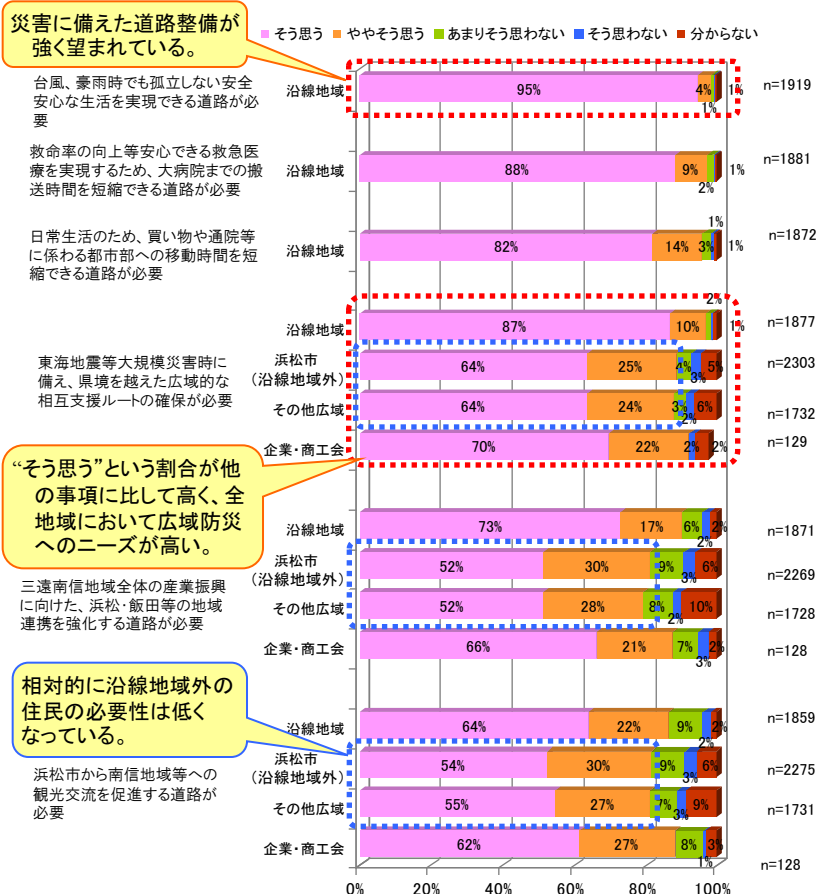


# 3. 意見聴取結果

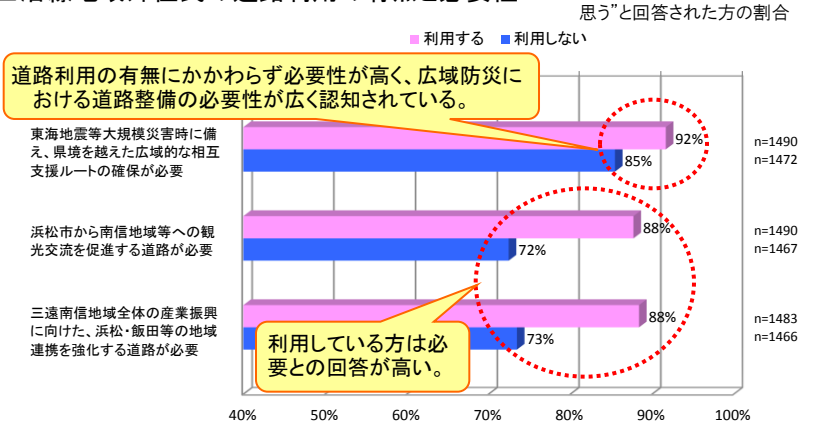
## ■アンケート集計結果

- 沿線地域の方では、「台風、豪雨でも孤立しない安全安心な生活を実現できる道路が必要」で“そう思う”と95%の方が回答しており、耐災害性の高い道路整備へのニーズが非常に強いことがわかる。
- 沿線地域外の方は、沿線地域の方と比較して相対的にニーズが低い、道路を利用したことのある方に着目すると沿線地域の方に匹敵するほど高い。
- 沿線地域外の方で道路を利用したことのある方の利用目的と行き先を見ると、主に仕事や観光を目的とし、行き先も広域に及ぶことから、広域的な観光交流や地域間連携においても必要性が高いと考えられる。

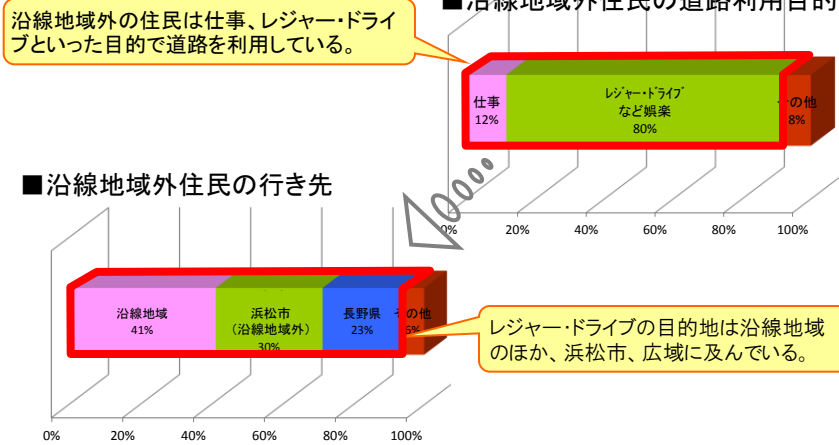
### ■地域別道路整備の必要性認識



### ■沿線地域外住民の道路利用の有無と必要性



### ■沿線地域外住民の道路利用目的



# 3. 意見聴取結果

## 【設問C】 佐久間・水窪地区における幹線道路のルートを検討する際に配慮すべき事項について

■ヒアリング及びアンケートの自由意見では、早期整備を望む意見や費用対効果、地域コミュニティ保全を求める意見が多い。また、全線別線整備による地域通過の不安や緊急時の非常出入口設置を求める意見があった。

### ■整備効果の早期発現を望む意見

- 三遠南信自動車道の真価が発揮されるのは、全線が開通したときであるので、1日も早い全線開通が望まれる。  
(飯田市役所、長野県トラック協会、長野県バス協会、浜松市商工会議所)
- 地形と利用者人口を考慮し、距離などで最も効率的なルートとし、**耐災害性や走行性等の機能を満足した上で、早期に整備効果が発現**するような計画を望む。  
(天龍村役場)
- 道路整備の効果が出る前に地域コミュニティが崩壊する可能性がある地域が点在するので、早期完成が最も重要では。  
(沿線地域住民)

### ■コスト縮減を望む意見

- 整備効果の早期発現のため、事業費や工期の短縮に配慮**するとともに、既存ストックを利用する等自然環境に配慮した整備も必要。  
(湖西市役所)
- 耐災害性や速達性等の**機能を満足した上で、建設コストの縮減に配慮**したルートにすべきである。  
(豊橋市役所、愛知県トラック協会、静岡県バス協会)
- 地域コミュニティの保全に配慮するとともに、**費用対効果に基づいた計画**として欲しい。  
(沿線地域住民、沿線地域外住民)

### ■走行性・安全性の確保を望む意見

- 他地域からの来訪者にとっても、**安全性に配慮した運転しやすい道路**設計であること。  
(浜松市役所)
- 安全性と速達性を確保**した上で、事故や異常時に大型車でも通行可能な道路となるような整備が望まれる。  
(静岡県バス協会、愛知県バス協会)
- 少なくとも、現状の**急カーブやすれ違いができない箇所が解消**され、走りやすい道路となることを望んでいる。  
(沿線地域住民)

### ■地域と外来者の関連を求める意見

- 別線での整備により、**すべての交通が地域を通過してしまうのは**地域振興の観点からすると**厳しい**。  
(佐久間観光協会)
- 道路としての通過でなく、道路+観光地として確立出来れば将来多くの人や車が利用して、他地域から人が入ってくる三遠南信地域とする事が可能だと思う。  
(長野県バス協会)
- ルートのすべてをトンネルにすると単なる通過地点になる**可能性がある。一部現道利用とすれば地域の自然景観等に親しめることができ、外来客の利用にも好都合となり、地域の活性化が期待される。  
(沿線地域住民)

# 3. 意見聴取結果

## ■ 地域コミュニティの保全を望む意見

- 整備時に家屋移転が生じると、地域外に出て行く人が多くなるため、**地域コミュニティ存続のためにも、極力移転が少ない計画を望む。**  
(水窪協働センター、天竜商工会水窪支部、水窪観光協会)
- 私達の町は過疎化が進み、高齢者ばかりの町で人口も減少する一方です。計画にあたっては、なるべく人家移転の少ない計画として下さい。  
(沿線地域住民)
- 走りやすさも大事だが、そのために自然破壊や**移転により地域を離れる人が出ないよう**、配慮して欲しい。  
(沿線地域外住民)

## ■ 自然環境への配慮を望む意見

- 豊かな**自然が残る地域であり、環境に配慮**した計画とすべき。  
(天龍村役場)
- 動植物等の自然環境への影響がなるべく小さくなるような計画として欲しい。  
(沿線地域住民、沿線地域外住民)

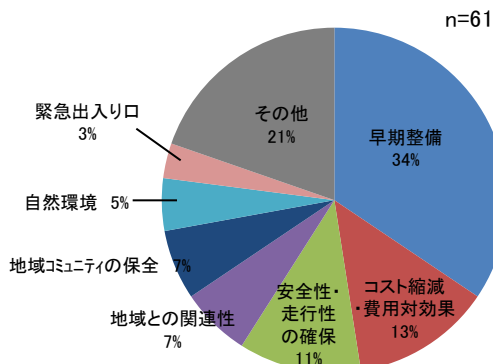
## ■ 緊急出入口の設置を望む意見

- 別線で整備時は中野田集落付近に緊急出入口を設置し、より円滑に救急活動が行えるように配慮してもらいたい。  
(天竜消防署佐久間出張所)
- 心疾患や脳疾患等の**緊急医療は1分1秒を争っており**、中野田集落付近に**緊急出入口を設置することで、多くの患者の救命率向上を期待。**  
(佐久間病院)
- 災害時の孤立化を防ぐために**、インターチェンジまでは必要なくても、**非常時の出入り口を用意すべき**ではないか。  
(沿線地域外住民)

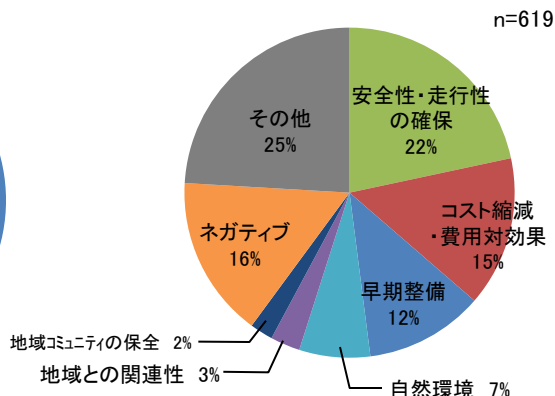
## ■ その他の意見

- 整備を行う場合は工事車両が増え、現在の国道の傷みが激しくなり、陥没などがひどくなる場合があると思うので、そちらの整備もしっかりやって欲しい。  
(沿線地域住民)
- 三遠南信自動車道も大事であるが、住民にとっては既存の国道151号、152号、473号等の整備を進めてもらう方がありがたい。  
(沿線地域住民)

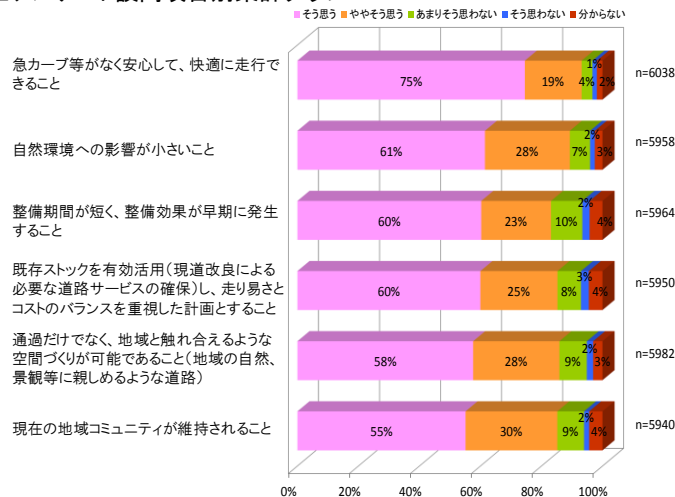
■ 地方自治体等ヒアリング、各種団体調査 (沿線地域代表者ヒアリング)における自由意見の 카테고리別集計グラフ



■ 住民アンケート、Webアンケート 各種団体調査(企業アンケート)における自由意見の 카테고리別集計グラフ



■ アンケート設問項目別集計グラフ

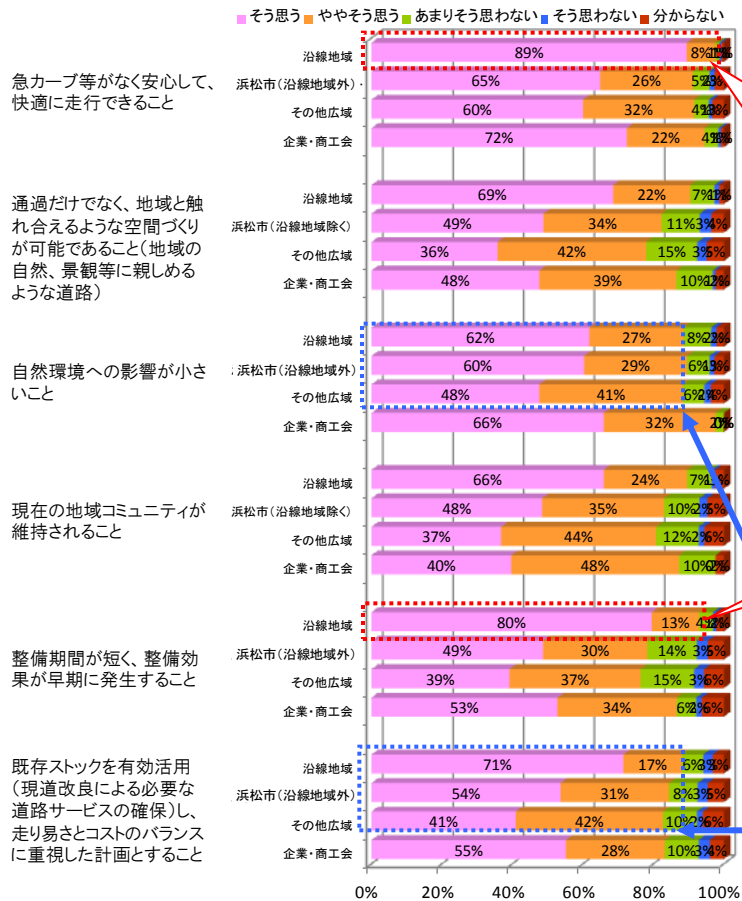


# 3. 意見聴取結果

## ■ アンケート集計結果(1)

- 沿線地域の方では、「急カーブ等がなく安心して快適に走行できること」及び「整備期間が短く、整備効果が早期に発生すること」に関し、“そう思う”が80%以上を占めており、安全性、走行性など求められる道路機能を満足した上で、1日も早い道路整備が強く望まれている。
- 「通過だけでなく、地域と触れ合えるような空間づくりが可能であること」、「整備期間が短く、整備効果が早期に発生すること」では道路利用の有無別でニーズに差異が認められ、道路を利用する方(地域をよく理解している方)ほど地域との関連性や早期整備を重視していることがわかる。
- 地域別、道路利用の有無別にかかわらず、「自然への影響が小さいこと」、「既存ストックを有効活用し、走り易さとコストのバランスに重視した計画とすること」はニーズに差異が認められず、配慮事項として重要といった結果が得られている。

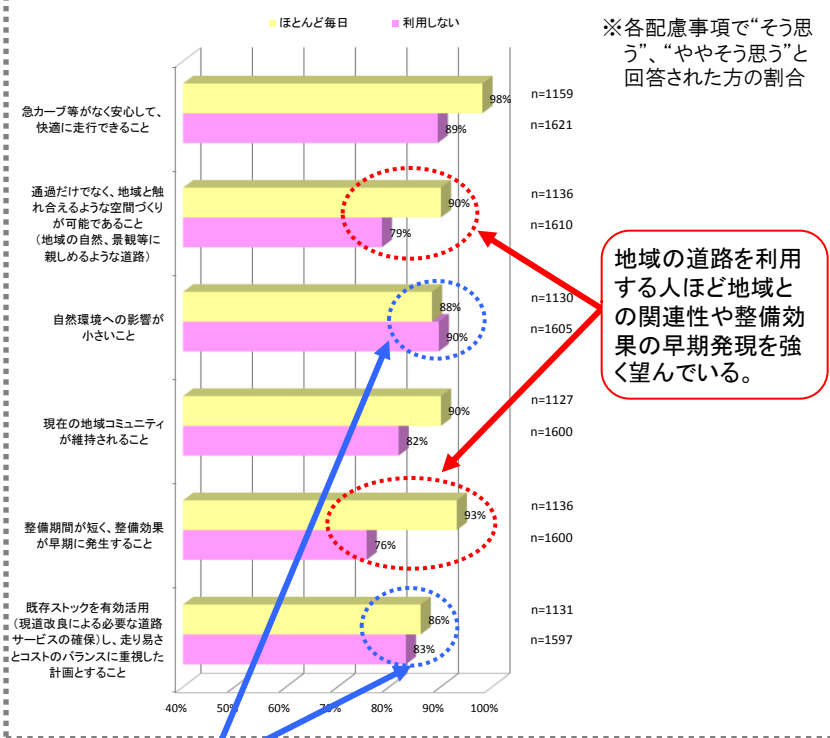
### ■ 地域別道路整備時の配慮事項への意識



沿線地域で走行性向上に関するニーズは高い。

沿線地域での早期整備に関するニーズは高い。

### ■ 道路利用の有無と配慮事項への意識(全体)



※各配慮事項で“そう思う”、“ややそう思う”と回答された方の割合

地域の道路を利用する人ほど地域との関連性や整備効果の早期発現を強く望んでいる。

地域別、道路利用の有無にかかわらず、自然環境や既存ストックの有効活用に関する配慮への意識が高く、自然環境の保全とコスト縮減に関する意識が広く浸透していることがうかがえる。



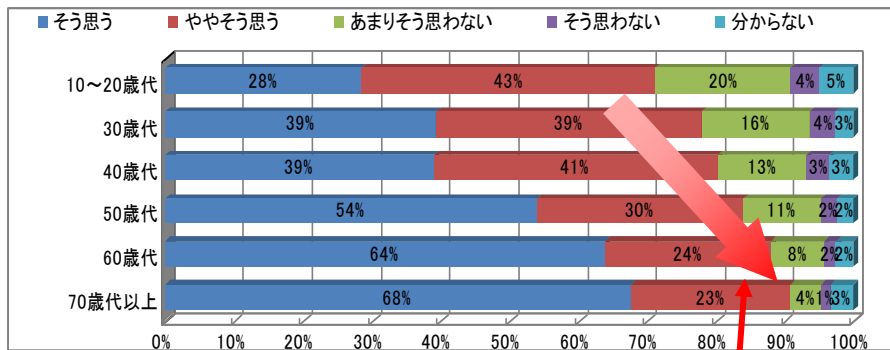
# 3. 意見聴取結果

## ■アンケート集計結果(2)・・・道路利用の有無で差異があった配慮事項におけるその他の傾向

- 道路利用の有無で差異のあった「通過だけでなく、地域と触れ合えるような空間づくりが可能であること」、「整備期間が短く、整備効果が早期に発現すること」では、年齢階層の上昇に応じてニーズが高くなっており、高齢者ほど道路と地域との関連性や早期整備を望んでいることがわかる。
- 道路の利用目的別では買い物、通院といった日常生活において道路を利用される方ほど道路の早期整備を望んでおり、“そう思う”と回答された方が約8割を占めている。

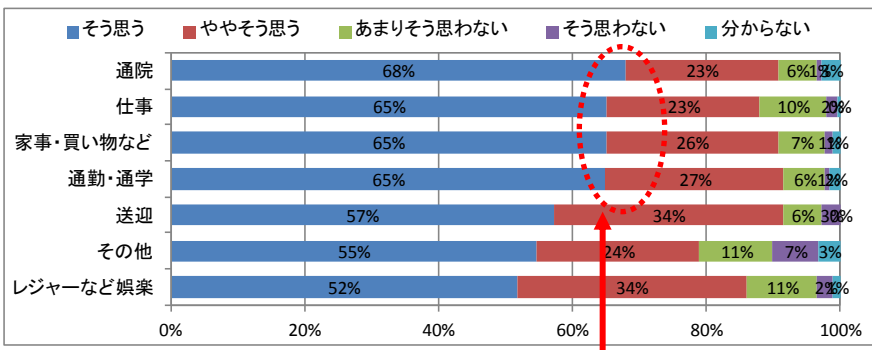
### □通過だけでなく、地域と触れ合えるような空間づくりが可能であること(地域の自然、景観等に親しめるような道路)(全体)

■年齢階層別(全体)の配慮事項への意識



年齢階層の上昇に応じて配慮事項としてのニーズが高くなり、超高齢者社会に向けて、地域とのふれあいを重視した道路整備が望まれる。

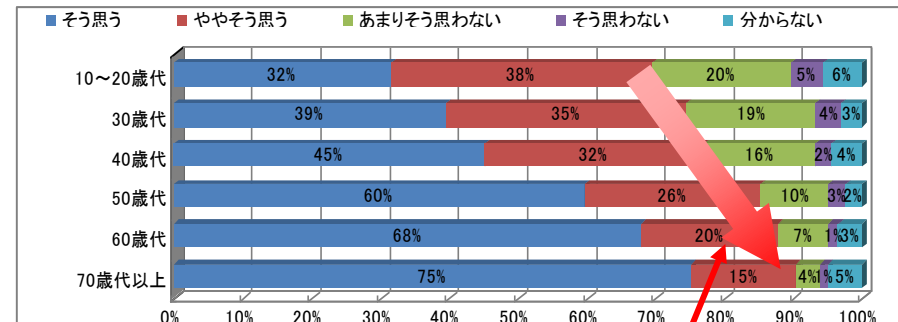
■道路の利用目的別(道路利用者のみ)の配慮事項への意識



買い物や通院といった日常生活行動で道路を利用する方ほど“そう思う”といった回答が多く、地域との関連性を望んでいる。

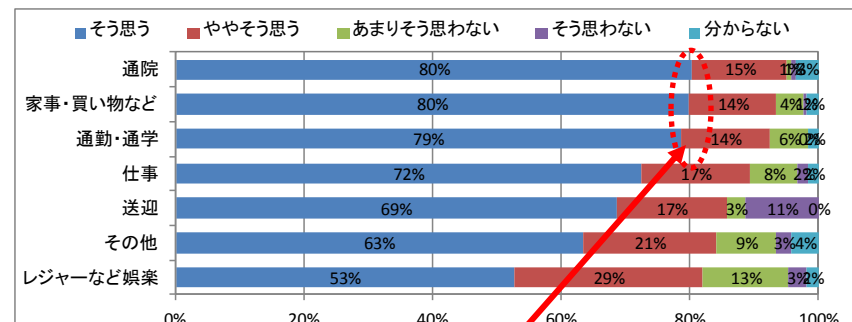
### □整備期間が短く、整備効果が早期に発生すること(全体)

■年齢階層別(全体)の配慮事項への意識



年齢階層の上昇に応じて配慮事項としてのニーズが高くなり、高齢者ほど道路の早期整備を望んでいることがわかる。

■道路の利用目的別(道路利用者のみ)の配慮事項への意識



買い物や通院といった日常生活行動で道路を利用する方ほど“そう思う”といった回答が多く、早期整備を望んでいる。

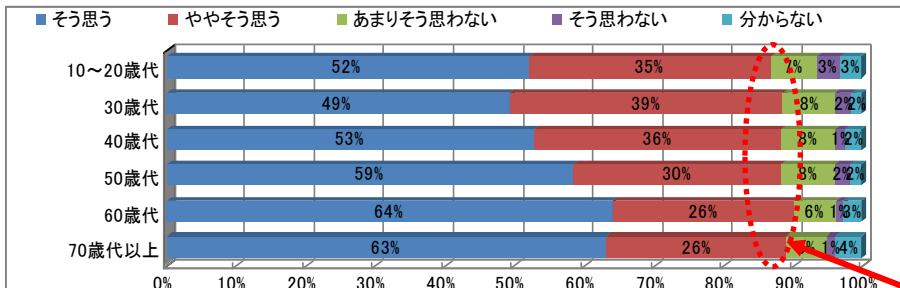
# 3. 意見聴取結果

## ■アンケート集計結果(3)・・・道路利用の有無で差異がなかった配慮事項におけるその他の傾向

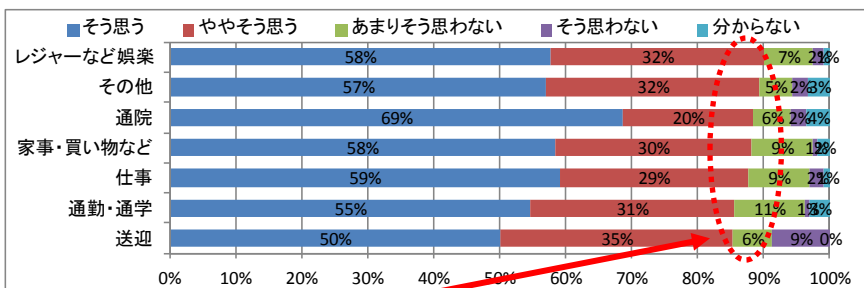
■「自然環境への影響」、「既存ストックを有効活用し、走り易さとコストのバランスに重視した計画とすること」は、年齢階層・道路利用目的別に  
見てもニーズの高さに差異は無く、自然環境の保全やコスト縮減等は広く国民に浸透している重要な配慮事項として認知されている。

### □自然環境への影響が小さいこと(全体)

#### ■年齢階層別(全体)の配慮事項への意識



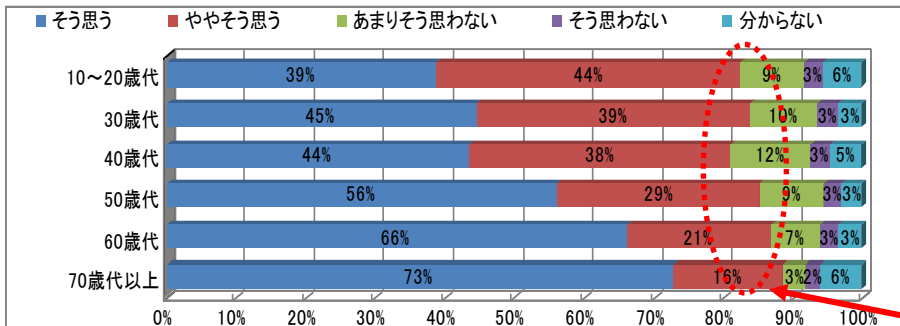
#### ■道路の利用目的別(道路利用者のみ)の配慮事項への意識



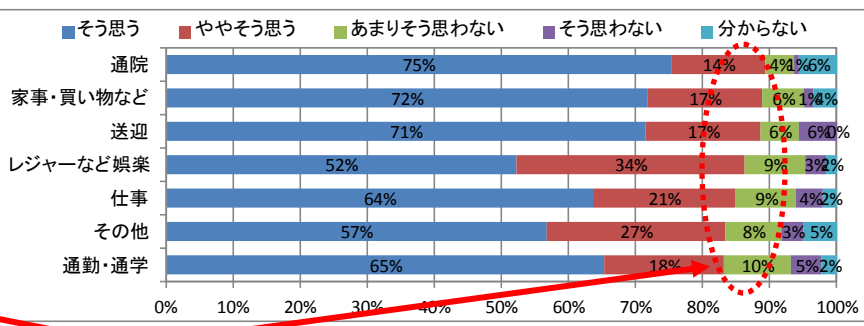
年齢階層や道路の利用目的別にも自然環境への影響に関するニーズは変わらない。

### □既存ストックを有効活用(現道改良による必要な道路サービスの確保)し、走り易さとコストのバランスに重視した計画とすること(全体)

#### ■年齢階層別(全体)の配慮事項への意識



#### ■道路の利用目的別(道路利用者のみ)の配慮事項への意識



年齢階層や道路の利用目的別にもコスト縮減等に関するニーズは変わらない。

## 4. 浜松市長意見

### ●浜松市長への意見照会の回答

三遠南信自動車道(水窪北～佐久間)計画段階評価の対応方針(案)について同意します。

三遠南信自動車道(水窪北～佐久間)は、災害時にも機能する信頼性の高いネットワークの確保や高次医療施設への速達性、生活利便性の確保、地域連携の強化による産業、観光・交流の活性化に資する重要な道路です。

水窪町北側の現道改良区間については、南側の別線整備区間の進捗と整合を図りつつ、浜松市が、事前通行規制区間の解除に向けた災害に強い道路の整備を進めていきます。南側の別線整備区間については、国で整備を図るべく、早期事業化に向けた手続きを進めていただきたい。

また、山間地域の円滑かつ迅速な救急救命活動支援のため、南側の別線整備区間に入出口を設置されたい。

# 5. アンケートの結果報告

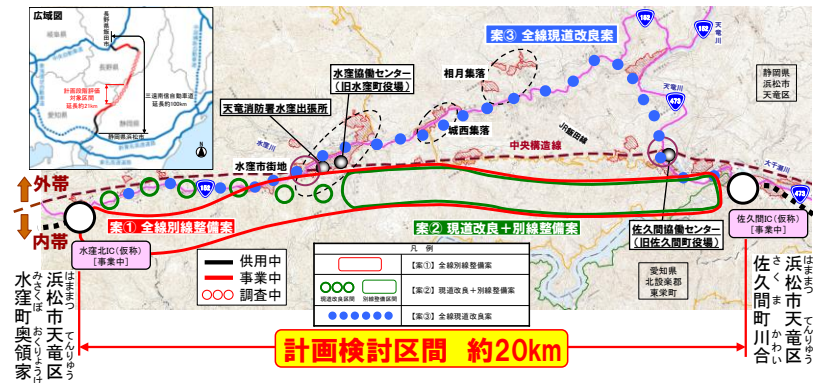
■12/27以降に、地域へアンケート結果の概要報告をする予定。

## 三遠南信自動車道[水窪北～佐久間]の計画検討に関するアンケートの結果を報告します

ホームページ <http://www.cbr.mlit.go.jp/hamamatsu/> 国土交通省 中部地方整備局 浜松河川国道事務所

三遠南信自動車道[水窪北～佐久間]の道路計画を進めています。平成25年4月25日から5月17日までの23日間に実施したアンケートでは、沿線地域の方のみならず広域の方からも多くのご意見をいただき、非常に高い回収率となりました。皆様のご協力により、信頼性の高いアンケート結果を得ることができ、この度、御礼を申し上げますとともに、アンケート結果について、ご報告させていただきます。今後は皆様からいただいたご意見を踏まえて、第三者委員会で審議してまいります。

### 《ルート帯の概要》



### ■アンケート結果の概要

調査項目	対象	方法	配布数	回収状況
住民アンケート	沿線地域住民	郵送配布・回収	佐久間・水窪町全戸 3,188戸	1,999票 (63%)
	浜松市民	郵送配布・回収	3,240戸 (佐久間・水窪町除く浜松市全世帯から無作為抽出1%)	1,422票 (44%)
	三遠南信地域住民 (浜松市含む)	留め置き配布、回収箱、郵送による回収	市役所、区役所、役場にて、ポスター、アンケート票を留め置き配布	377票
三遠南信地域住民 WEBアンケート		インターネット上での回答	浜松河川国道事務所、浜松市のHP及びモニターアンケート	1,109票
三遠南信地域商工会・企業アンケート		郵送配布・回収	商工会:37 企業:237	129票
道の駅利用者アンケート		道の駅来訪者から直接聞き取り	三遠南信地域の道の駅11箇所を実施	1,144票

■アンケート結果に関するお問い合わせ (土・日・祝を除く平日9:00～17:00)

国土交通省 中部地方整備局  
浜松河川国道事務所 調査第二課

〒430-0811 浜松市中区名塚町266番地  
TEL: 053-466-0117 (直通)

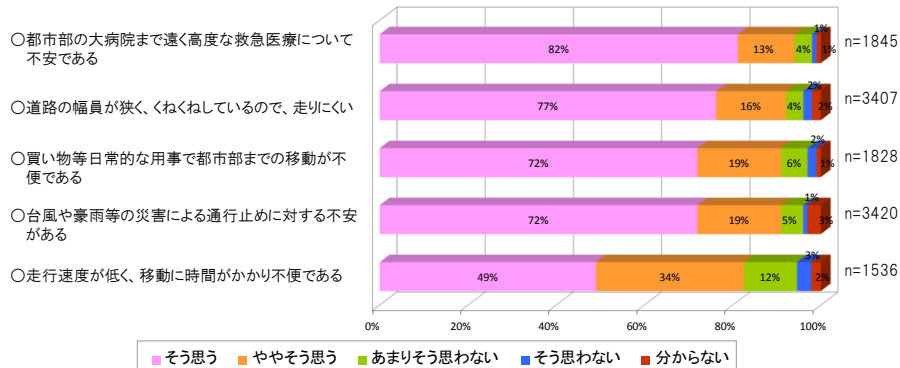
### ■アンケート対象エリア



# 5. アンケートの結果報告

## Q: 佐久間・水窪地区の道路サービスについて、あなたはどのように思われますか？

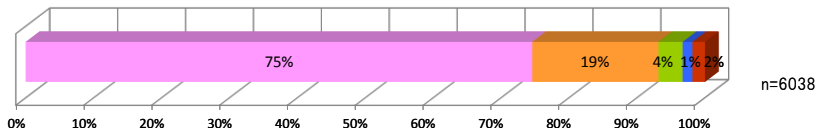
■ 全ての設問において、“そう思う”、“ややそう思う”が全体の約8割以上を占めており、現状の道路サービスに不満を抱えている状況が確認されました。



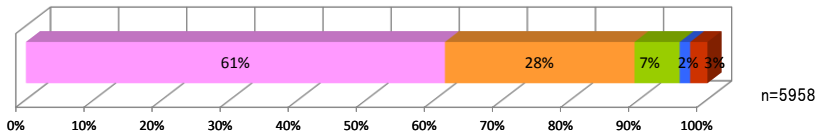
## Q: 佐久間・水窪地区における幹線道路のルートを検討する際、どのようなことに配慮すべきだと思いますか？

■ 全ての設問において、“そう思う”、“ややそう思う”が全体の約8割を占めており、特に快適な走行性や自然環境への影響に配慮を望む声が多くなっています。

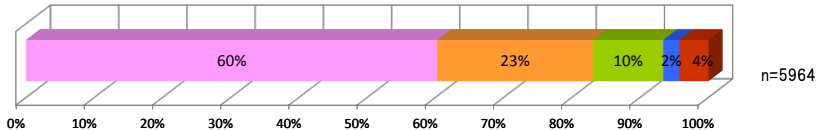
○急カーブ等がなく安心して快適に走行できること



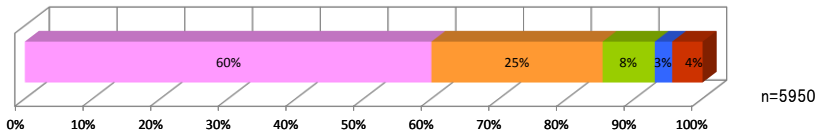
○自然環境への影響が小さいこと



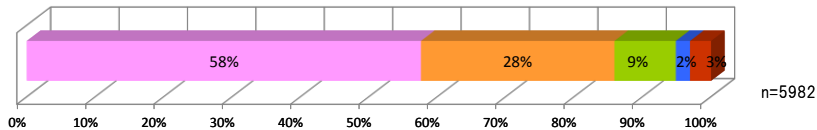
○整備期間が短く、整備効果が早期に発生すること



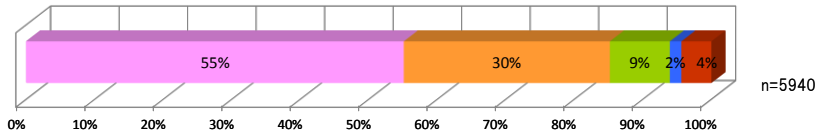
○既存ストックを有効活用(現道改良による必要な道路サービスの確保)し、走り易さとコストのバランスに重視した計画とすること



○通過だけでなく、地域と触れ合えるような空間づくりが可能であること(地域の自然、景観等に親しめるような道路)



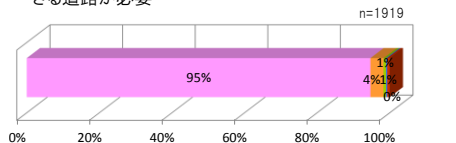
○現在の地域コミュニティが維持されること



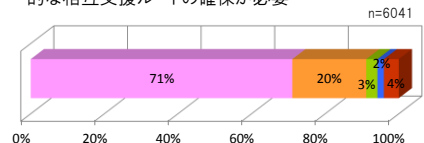
## Q: 佐久間・水窪地区における幹線道路整備の必要性について、防災、医療、生活支援、広域連携等の観点からどのように思われますか？

■ 全ての設問において、“そう思う”、“ややそう思う”が全体の約8割を占めており、幹線道路整備が望まれていることが確認されました。特に、防災や医療の観点から整備を望む声が強くなっています。

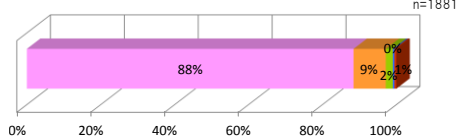
○台風、豪雨時でも孤立しない安全安心な生活を実現できる道路が必要



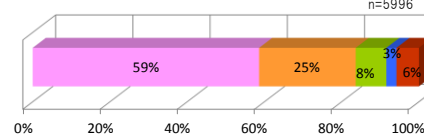
○東海地震等大規模災害時に備え、県境を越えた広域的な相互支援ルートの確保が必要



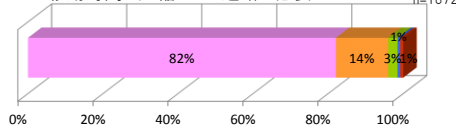
○救命率の向上等安心できる救急医療を実現するため、大病院までの搬送時間を短縮できる道路が必要



○三遠南信地域全体の産業振興に向けた、浜松・飯田等の地域連携を強化する道路が必要



○日常生活のため、買い物や通院等に係わる都市部への移動時間を短縮できる道路が必要



○浜松市から南信地域等への観光交流を促進する道路が必要

